



仙台市の交通事故発生状況

令和7年中

1 交通事故発生状況

令和7年中の仙台市内（高速道路・自動車専用道路を除く）における人身交通事故は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数は増加したものの、死亡事故は11件11人の発生で、5件5人減少しました。

【仙台市内の交通事故発生状況】

(令和7年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	1,902	11	11	236	2,030	2,266
前年	1,885	16	16	202	2,014	2,216
増減数	17	-5	-5	34	16	50
増減率	0.9	-31.3	-31.3	16.8	0.8	2.3

【宮城県内の交通事故発生状況】

(令和7年中)

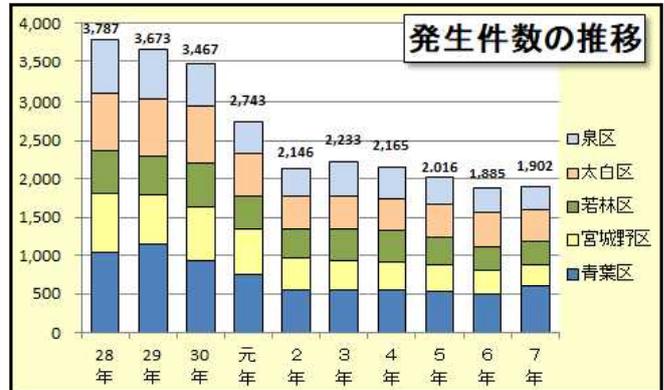
区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	3,730	38	38	502	4,031	4,533
前年	3,785	47	47	444	4,121	4,565
増減数	-55	-9	-9	58	-90	-32
増減率	-1.5	-19.1	-19.1	13.1	-2.2	-0.7

2 仙台市の交通事故の区別発生推移 (基礎データ平成28年～令和7年)

(1) 発生件数は減少傾向

人身交通事故の発生件数は、令和4年以降3年連続の減少から令和7年は17件の増加に転じましたが、平成28年から令和7年までの10年間を比較すると、増減数は-1,885件（増減率-49.8%）で減少傾向となっています。

また、各区ごとの10年間の増減率は全ての区で減少しており、最も減少率が高いのは宮城野区（増減率-63.9%）で、次いで青葉区（増減率-55.5%）が高くなっています。

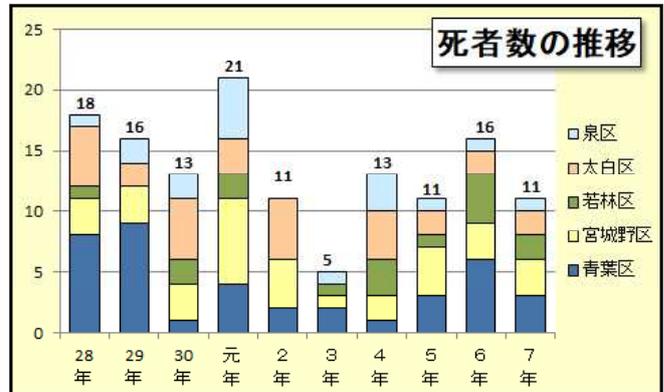


(2) 令和7年の死者数は前年より減少

死者数は、平成28年から令和元年までは20人前後で推移し、令和2年以降は10人前後で推移しています。

また、令和7年は前年より-5人と減少しました。

さらに、各区ごとの死者数を見ると、令和7年は、青葉区と宮城野区の死者数3人が最も多くなっています。



区別	年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	増減率 10年平均
		発生件数	青葉区	1,044	1,140	929	764	545	540	551	525	
	宮城野区	770	655	706	564	423	396	364	362	327	278	-63.9%
	若林区	550	505	572	449	374	401	412	349	292	293	-46.7%
	太白区	740	734	744	559	424	430	415	435	451	424	-42.7%
	泉区	683	639	516	407	380	466	423	345	323	304	-55.5%
	計	3,787	3,673	3,467	2,743	2,146	2,233	2,165	2,016	1,885	1,902	-49.8%
死者数	青葉区	8	9	1	4	2	2	1	3	6	3	3.9人
	宮城野区	3	3	3	7	4	1	2	4	3	3	3.3人
	若林区	1	0	2	2	0	1	3	1	4	2	1.6人
	太白区	5	2	5	3	5	0	4	2	2	2	3.0人
	泉区	1	2	2	5	0	1	3	1	1	1	1.7人
	計	18	16	13	21	11	5	13	11	16	11	13.5人

3 仙台市の事故の発生特徴等 (基礎データ令和7年中)

(1) 二輪車と自転車事故の割合が高い

県内で発生した全事故のうち、仙台市が占める割合は、約5割(51.0%、3,730件中1,902件)ですが、二輪車事故は県全体の70.4%(206件中145件)、自転車事故は70.0%(533件中373件)といずれも高い割合を占めました。



(2) 二輪車と自転車は出会い頭事故が多い

二輪車事故を事故類型別に見ると、出会い頭事故が23.4%(145件中34件)で最も多く、次いで追突が22.1%(32件)でした。

また、自転車事故の事故類型別でも、出会い頭が約半分(47.5%、373件中177件)を占めており、次いで左折時が26.5%(99件)、右折時が17.2%(64件)でした。

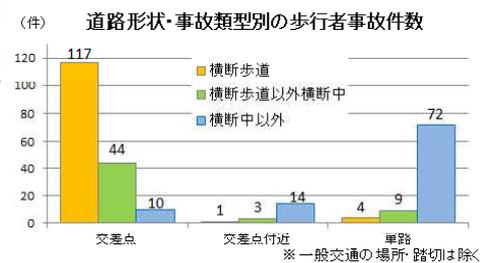


(3) 歩行者事故は道路横断中に多発

駐車場等での発生を除くと、歩行者事故の約7割(65.0%、274件中178件)は道路横断中の事故であり、中でも横断歩道を横断中の事故が、同歩行者事故の4割以上(44.5%、122件)を占めました。

道路形状別では、交差点での事故が最も多く(62.4%、274件中171件)、そのうちの約7割(68.4%、171件中117件)が横断歩道の事故でした。

一方、単路での歩行者事故は8割以上(84.7%、85件中72件)が横断中以外でした。



仙台市内の交通死亡事故発生状況

(令和7年中)

No.	発生年月日等								事故類型		死者			
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	形状	類型A	類型B	状態	年代
1	7	1	10	9	金	昼	曇	宮城野区東仙台	県道	交差点	人対車両	その他	歩行者	70歳代
2	7	1	18	5	土	夜	晴	青葉区木町通	県道	交差点	人対車両	その他	歩行者	30歳代
3	7	2	1	9	土	昼	曇	太白区八木山香澄町	市道	カーブ	車両単独	工作物衝突	四輪車	90歳代
4	7	3	2	15	日	昼	晴	青葉区藤松	県道	直線	車両相互	正面衝突	四輪車	80歳代
5	7	4	30	13	水	昼	晴	泉区明通四丁目	市道	カーブ	車両相互	正面衝突	四輪車	80歳代
6	7	5	9	9	金	昼	晴	若林区沖野三丁目	市道	交差点	車両相互	出会い頭	自転車	80歳代
7	7	5	16	11	金	昼	晴	宮城野区岩切	県道	交差点	車両相互	左折時	自転車	60歳代
8	7	6	20	5	金	昼	晴	宮城野区原町六丁目	国道	交差点	車両相互	左折時	自転車	60歳代
9	7	8	5	9	火	昼	晴	若林区荒井四丁目	市道	交差点	人対車両	横断中	歩行者	80歳代
10	7	10	27	17	月	夜	晴	青葉区八幡四丁目	市道	交差点	人対車両	その他	歩行者	70歳代
11	7	11	26	14	水	昼	雨	太白区大野田三丁目	県道	直線	車両単独	工作物衝突	自転車	40歳代

仙台市内(区別)の主な事故発生状況

(令和7年中)

	全事故			歩行者			自転車			二輪車			子供		
	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
青葉区	603	3	714	124	2	125	103		106	60		65	28		32
宮城野区	278	3	328	36	1	36	53	2	51	14		15	12		13
若林区	293	2	329	41	1	41	73	1	73	18		21	26		27
太白区	424	2	521	65		65	96	1	95	24		26	36		40
泉区	304	1	374	45		47	48		49	29		31	25		29
仙台市合計	1902	11	2266	311	4	314	373	4	374	145		158	127		141
県全体	3730	38	4533	542	15	539	533	5	534	206	3	218	238	1	282
仙台市の割合(%)	51.0	28.9	50.0	57.4	26.7	58.3	70.0	-	70.0	70.4	-	72.5	53.4	-	50.0

	高齢者			高齢ドライバー			飲酒運転			若年ドライバー			高校生		
	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
青葉区	68	2	71	146	1	178	9		10	70		100	25		31
宮城野区	30	3	29	64		77	3		3	29		32	14		17
若林区	30	2	28	73	1	81				37		42	15		15
太白区	62	1	67	107	1	125	2		4	56		78	26		32
泉区	42	1	45	79	1	94	4		7	34		44	32		41
仙台市合計	232	9	240	469	4	555	18		24	226		296	112		136
県全体	557	23	579	1059	15	1267	32	1	38	435		573	191		263
仙台市の割合(%)	41.7	39.1	41.5	44.3	26.7	43.8	56.3	-	63.2	52.0	-	51.7	58.6	-	51.7